

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入浴・排泄などの情報を一体的に記録するという仕組みができておらず、全体的な情報把握がいくつかの記録を集約しないとわからない状況にある。また、職員が記録するという行為自体に、時間を費やしており、お客様個別に関わる時間が少ない。結果、アセスメントの内容が薄い。	お客様の希望・要望を把握するために関わる時間をとり、お客様のニーズを把握する。	業務内容を職員全員で見直し、改善を行うことにより、居室担当者がお客様に関われる時間を作る。 個々の職員が、アセスメントの重要性を知る。	3ヶ月
2	26	お客様の状況を月1回のおたよりにより報告を行っているが、その他は何かがあった時のみである。もう少し家族とのコミュニケーションを図る機会を持ち、家族参加のケアを行っていきたい。	家族様を巻き込んだケアの実施	ご家族様が来所できる機会として行事等を多く企画する。 カンファレンスにも参加して頂けるよう働きかける。 家族会でご家族の声を的確に収集する。	12ヶ月
3	2	運営会議や町会に出向いての勉強会などでの関わりは持たせていただいているが、非常災害時などが発生した際の協力体制を得ることができるほどの密接な関わりはできておらず、その前段階の基礎作りまでとなっている。	地域とのより親密な関係づくり	運営推進会議などで非常災害発生時の対応やご協力をお願いしていく。 町会に出向いての介護教室を年6回開催する予定なので、その中で、グループホームへの理解と協力を得ることができるように声かけを行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。